

Safety with a smile

第136期
中間報告書

2018.4.1~2018.9.30



証券コード：6741

日本信号株式会社



代表取締役会長
降旗洋平

代表取締役社長
塚本英彦

「安全と信頼」のグループ理念のもと、事業活動を通じて社会的課題の解決に取り組めます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループの第136期第2四半期(2018年4月1日から2018年9月30日まで)決算の概要および当社グループの取り組みにつきまして報告申し上げます。

2018年12月

連結業績の推移

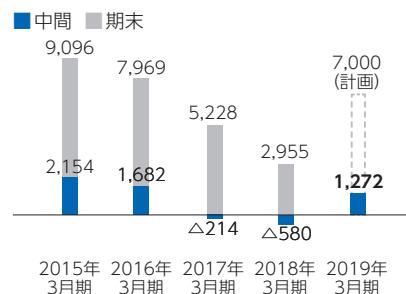
受注高 (百万円)



売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



「安全と信頼」を積み重ねた歴史

日本信号グループは1929年2月の営業開始以来「安全と信頼」のテクノロジーを提供し、社会とともに成長してきました。継承してきた高い技術力は、我が国の鉄道黎明期に前身である三村工場から始まり、鉄道信号・道路交通システムの専門メーカーとして蓄積してきた歴史を、自動改札機・自動券売機などの駅務ネットワークシステムや駐車場管理システムなどの「新事業」に広げてまいりました。

第2四半期は増収増益 136期でのV字回復を目指します

当第2四半期(2018年4月1日から2018年9月30日)における世界経済は、米中貿易摩擦や原油価格上昇により経済の先行きに対する警戒感が高まりました。国内にお

いても自然災害の影響や少子高齢化による人手不足を背景に不透明感が広がったものの、国内外ともに堅調な需要で推移し緩やかな回復基調が継続しております。

経営成績といたしましては、受注高は前年同期比1.2%増の53,130百万円であり、過去10年で最高の数値となりました。売上高は前年同期比15.2%増の35,669百万円となっています。

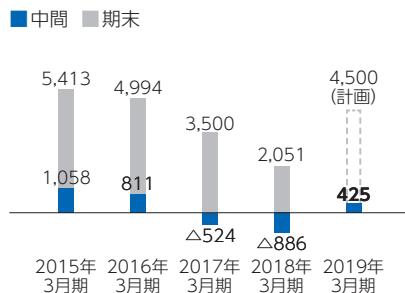
損益面につきましては、経常利益は過去10年で3番目の数値である1,272百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は425百万円となりました。

V字回復に向けた取り組みは確実に実を結んでおります。下期でも引き続き着実な事業活動を展開してまいります。

中間配当金につきましては、期初計画通り1株7円としております。期末配当金につきましては、創立90周年記念配当1円を含む1株18円とし、年間配当金は前期比1円増の25円を予定しております。

親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

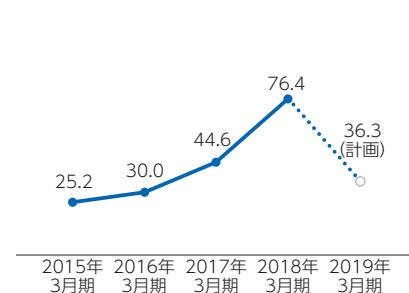
(百万円)



1株当たり配当金 (円)



配当性向 (%)



世界中の人々の「笑顔」を守り続けるために

ものづくりのDNAを社内で醸成し、未来に継承していく拠り所として、2017年11月に安全信頼創造センター「ANSHIN館」を設立しました。IoTを活用し、予防保全型の品質保証、タイムリーなメンテナンスに取組み、従業員に対して安全と信頼への意識を高める教育を実施しています。

国際事業においては、韓国・富山(プチョン)市に本社を持つDAEATI社(DAEATI Co., Ltd.)より、韓国の光州(クワンジュ)広域市都市鉄道公社の光州都市鉄道2号線信号システムを受注しました。近年の韓国事業では、金浦都市鉄道に続く信号プロジェクトとなります。

本路線は総距離41.9km、駅数44駅の環状線で、2025年に全線開業予定です。当社は信号システムのうち無線を用いた自動列車防護装置「SPARCS」を納入する予定で、開通による周辺地域に対する生産・雇用誘発などの地域経済活性化が期待されております。

多様な人材が絆を深める会社であり続けるために

優れた若い人材を獲得・育成するため、独身寮などの設備も充実させています。

独身寮「シグナリオ宇都宮」では、併設して企業内保育施設「シグナリオキッズ」を設けました。ライフステージに応じて安心して働ける環境を整備し、従業員の仕事と育

児の両立を支援していきます。従業員だけでなく地域の方も利用していただける施設となっており、地域貢献にも繋がると考えております。

創立90周年からその先へ 日本信号グループの価値創造

少子高齢化による労働力不足やデジタル技術の革新など、事業環境は日々変化しています。この中で日本信号グループが、全てのステークホルダーの皆様の期待に応え持続的な成長を遂げていくため、一丸となって向かう拠り所がグループ理念です。

これをグループ全体が共有することで、果たすべき使命や大切にすべきことを一人ひとりが意識し、事業活動を通じた社会的課題の解決や日本信号グループならではの価値創造に努めてまいります。



企業内保育施設
「シグナリオキッズ」運動会



「エコレールマーク協賛企業」になりました

日本信号は、これまでの事業活動や鉄道まつりにおける継続した取り組みが評価され国土交通省が設置する「エコレールマーク運営・審査委員会」より「エコレールマーク協賛企業」に認定されました。
当社はこれからも環境に優しい鉄道貨物輸送の発展に貢献してまいります。



Q エコレールマーク協賛企業とは……？

エコレールマーク認定商品または取組企業の輸送・流通に関わっている企業等であって、「エコレールマーク」を多くの一般消費者に普及させるため、「エコレールマーク運営・審査委員会」が適当と判断した企業です。

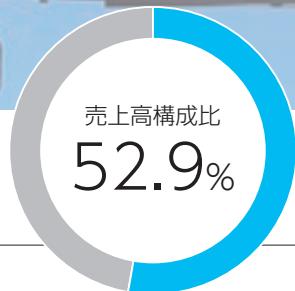
Q エコレールマーク制度とは……？

地球環境にやさしい鉄道貨物輸送を一定以上利用している商品又は企業に対して「エコレールマーク」の認定を行い、マークの表示によって消費者に判断基準を提供する制度です。

認定商品	206品目
認定企業	87社
協賛企業	36社

※2018年9月20日現在





交通運輸インフラ事業

売上高 18,871 百万円

鉄道信号

売上高 17,084 百万円



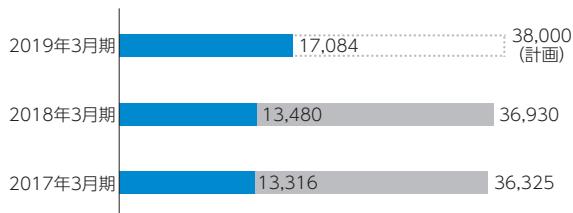
第2四半期のポイント

国内市場においては、JR・私鉄各社向けに信号保安装置をはじめとした各種機器の販売に取り組みました。なかでも、ワンマン運転を可能にして将来の労働力人口減少に対応するため、列車の走行、停止、駅と列車のドア制御連携などをトータルで管理するATO(自動列車運転装置)の拡販に努めました。

海外市場においては、新興国の旺盛な鉄道インフラ需要に応え、営業活動を推進しています。

売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 期末



スマートロード

売上高 1,787 百万円

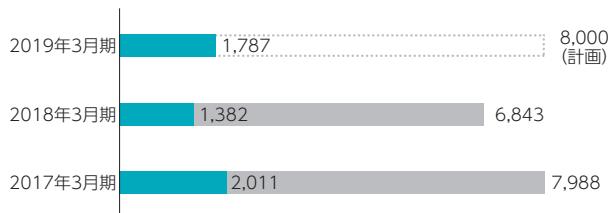


第2四半期のポイント

道路に設置し駐車料金を徴収する新型パーキングメーターやトラックの死角を感知し巻き込み事故を防止するブラインドスポットセンサーの拡販を進めました。また来るべき自動運転時代の到来に向け、自動運転車両が信号情報を受信して走行する実験など各種実証実験に参加しました。

売上高 (百万円)

■ 中間 ■ 期末





ICTソリューション事業

売上高 16,797 百万円

売上高構成比
47.1%

AFC

売上高 8,203 百万円



第2四半期のポイント

列車との接触や線路への転落を防止する対策として整備が進むホームドアの受注・売上がありました。また駅案内ロボット「ekibo」の開発をすすめ、自律走行可能で誰にでも使いやすい床清掃ロボット「CLINABO」は清掃員の業務補助として試験導入され、人手不足に対するソリューションを提供しました。

スマートパーク

売上高 8,593 百万円



第2四半期のポイント

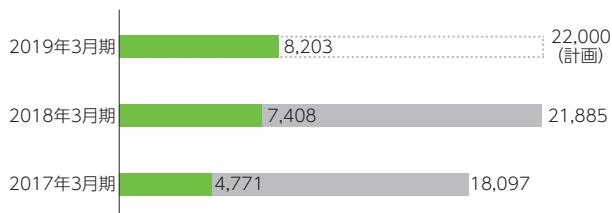
盗難防止機能を強化した駐車場管理機器・システムの受注・売上拡大に取り組むとともに、スムーズな駐車・乗降が可能な新型フラップレスシステムの開発に努めました。

VBC (ビジョナリービジネスセンター)

障害物検知を行う3D距離画像センサの建設機械市場における拡販に引き続き努めました。

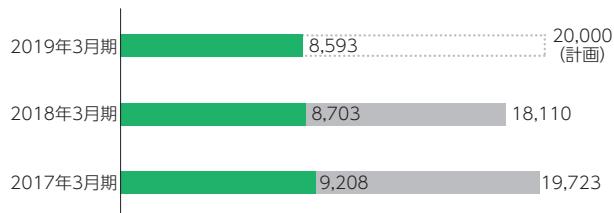
売上高 (百万円)

■中間 ■期末



売上高 (百万円)

■中間 ■期末



日本信号グループとSDGs

私たち日本信号グループの願いは、世界中の人々がより安心、快適に暮らせる社会の実現です。

そしてこの想いを「**私たちの使命 (Our Mission)**」に込めています。

日本信号グループは、この使命に則り「**安全と信頼**」の優れたテクノロジーで価値ある製品・サービスを提供し社会的課題の解決に事業を通じて貢献したいと考えています。

「**私たちの大切にすべきこと (Our Values)**」を指針として、事業において価値を生み出すことが新たな事業機会の創出に繋がり当社の企業価値向上の原動力となります。

創立90周年をむかえる当社は、これからも社会インフラの一端を担う企業としてステークホルダーとの絆に感謝して継続的な社会貢献に努め、我が国のみならず世界の人々の安全で快適な生活に貢献してまいります。



■ 北海道胆振東部地震被災者への寄付



■ PMF (パシフィック・ミュージックフェスティバル)



■ 第4回こどもの夢ひろばポレロ



■ 「ABEイニシアティブプログラム」への協力

グローバルな
パートナーシップ活性化



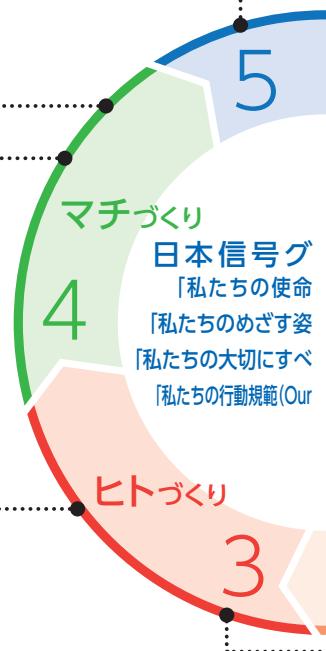
地球環境の保全



質の高い教育・
文化活動への支援



様々な働き手が生き生きと働ける
プラットフォームの構築



SDGsとは?

国連で合意された2030年までの世界的な優先課題及び世界のあるべき姿を定めた世界共通のゴールをいい、17の目標と169のターゲットで構成されます。SDGsと当社グループの事業は密接な関係にあり、企業としての「収益性」と社会の課題を解決する「社会性」を両立させる事業展開を推進することで、これらの課題解決に取り組んでまいります。



■ がん研究会への寄付



■ 軽量型ホームドア



■ 小型EV向け非接触充電ポート



福祉の推進



製品やサービスを通じた社会貢献



低炭素社会・循環型社会に向けた環境負荷低減策の実行



災害の復旧支援



■ 無線式信号保安システム[SPARCS]



■ ウガンダにて設置した信号機



■ 自動床清掃ロボット「CLINABO」

会社概要

社名	日本信号株式会社
所在地	〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階
電話番号	03-3217-7200
代表者	代表取締役社長 塚本 英彦
設立	1928年12月27日
資本金	100億円

連結子会社

日信電子サービス株式会社
日信ITフィールドサービス株式会社
仙台日信電子株式会社
三重日信電子株式会社
日信工業株式会社
栃本日信株式会社
日信特器株式会社
日信ソフトエンジニアリング株式会社
日信電設株式会社
山形日信電子株式会社
札幌日信電子株式会社
福岡日信電子株式会社
朝日電気株式会社

海外子会社

北京日信安通貿易有限公司
Nippon Signal India Pvt. Ltd.

営業拠点・事務所

久喜事業所
宇都宮事業所
上尾工場
大阪支社
北海道支店
東北支店
北関東支店
中部支店
九州支店
台北営業所 他

役員

取締役・監査役

代表取締役会長 (CEO)	降旗 洋平
代表取締役社長 (COO)	塚本 英彦
取締役	徳 洵 良 孝
取締役	藤 原 健
取締役	大 島 秀 夫
取締役	丹 野 信
社外取締役	米 山 好 映
社外取締役	松 元 安 子
社外取締役	井 上 由 里 子
常勤監査役	川 田 省 二
常勤監査役	吉 川 幸 夫
社外監査役	綱 島 勉
社外監査役	大 濱 郁 子
補欠監査役	龍 野 廣 道

執行役員

最高執行責任者 (COO)	塚本 英彦	リスク管理委員会委員長、研究開発統括、内部統制監査室担当
専務執行役員	徳 洵 良 孝	経営管理本部長
常務執行役員	藤 原 健	営業本部長、支社・支店担当
常務執行役員	大 島 秀 夫	国際本部長 兼 国際事業部長
常務執行役員	丹 野 信	技術開発本部長、ビジョナリービジネスセンター担当
常務執行役員	東 義 則	ものづくり本部長、TQM推進部担当
上席執行役員	堀 内 尚 寿	ものづくり本部 宇都宮事業所長 兼 ものづくり本部 宇都宮事業所 業務部長 兼 運賃ネットワークセンター長
上席執行役員	清 水 一 巳	経営管理副本部長
上席執行役員	清 水 良 夫	経営管理本部 経営企画室長
上席執行役員	寒 川 正 紀	営業本部 AFC事業部長
執行役員	平 野 和 浩	営業本部 鉄道信号事業部長
執行役員	坂 井 正 善	技術開発本部 安全信頼創造センター長 兼 次世代鉄道システム開発室長
執行役員	久 保 昌 宏	ものづくり本部 久喜事業所長
執行役員	武 藤 徹	大阪支社社長 兼 大阪支社業務部長
専門役員	荒 井 八 郎	国際技術駐在 (インド) Nippon Signal India Pvt. Ltd. Managing Director
専門役員	佐 藤 和 敏	営業本部長・技術開発本部長付 (次世代鉄道システム開発関連)

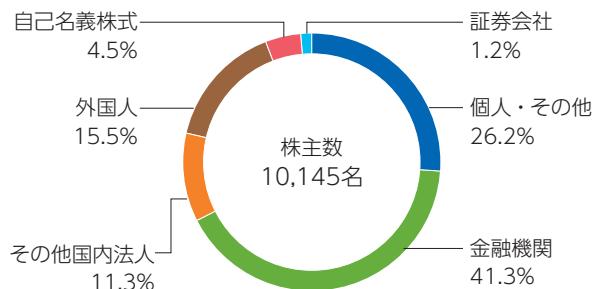
株式の状況

発行済株式総数	68,339,704株
株主数	10,145名
大株主の状況	

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
富国生命保険相互会社	4,793	7.34
日本信号グループ社員持株会	3,564	5.46
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,541	5.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,112	4.77
日本信号取引先持株会	3,009	4.61
株式会社みずほ銀行	2,200	3.37
西日本旅客鉄道株式会社	2,050	3.14
株式会社三菱UFJ銀行	1,372	2.10
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,334	2.04
第一生命保険株式会社	1,200	1.84

- (注) 1. 富国生命保険相互会社は、上記のほかに当社の株式730千株を退職給付信託として信託設定しており、その議決権行使の指図権は同社が留保しております。
2. 持株比率は自己株式(3,051,413株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会日	6月下旬
基準日	定時株主総会関係 3月31日 剰余金期末配当関係 3月31日 (中間配当の支払いを行うときは9月30日)
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
郵便物送付先・電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) http://www.signal.co.jp/ir/ ※ 事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人であるみずほ信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社などにて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただきます。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。

久喜事業所において「鉄道まつり」を開催しました



10月20日(土)、日本信号 久喜事業所にて「鉄道まつり」を開催いたしました。
この12月に創立90周年を迎えることを祝い「歴史を振り返る」というサブテーマを設け、戦時中の鉄道運行や電車が走る仕組みについての講演会の開催や、鉄道博物館特別展として日本信号の前身である三村工場の創業者三村周氏直筆の機械式信号機的设计図の展示を行いました。
晴天に恵まれた屋外ではミニSLやロードトレインが運行し、屋内では運転シミュレータやなりきり運転手体験をお楽しみいただきました。
今年も2,000名超の方々にご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。



INFORMATION 表紙の絵(心象画)のご紹介

タイトル 修学旅行列車 作者 ふくしま ひさし 福島 尚さん

プロフィール：1969年9月生まれ。埼玉県日高市在住。
自閉症を抱えながらも努力を積み重ね、全国の鉄道をモチーフに精巧な絵を描く。
緻密であり、またどこか懐かしさを感じさせる独特なリアリズムで、多方面から注目を集めている。
近年は個展の開催や企画展への参加で、全国を舞台に活躍している。



〒100-6513 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング13階
TEL: 03-3217-7200 FAX: 03-3217-7300 E-mail: info@signal.co.jp

